

菊川地区まちづくり集会（H25.9.15開催）

菊川地区まちづくり集会

◎日 時 平成25年9月15日（日）14:00～15:30

◎場 所 菊川総合支所

◎出席団体数 15団体

菊川自治会連合会、菊川中学校PTA、岡枝小学校育友会、菊川地区婦人会、下関市商工会菊川町支所、菊川支部老人クラブ、菊川スポーツ振興会、菊川地区民生児童委員協議会、菊川地区こども会連合会、菊川文化協会、菊川町青少年育成町民会議、菊川町農業企業者クラブ、菊川地区保健推進委員会、貴和の里につどう会

◎市出席者 総合政策部政策調整監：星出恒夫、総合政策部部次長：大崎信一
地域支援課主幹：秋枝淳司、主任：齋藤浩三
菊川総合支所総合支所次長：倉田昌典

◎傍聴者 2名

◎次第

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1 開 会 | 14:00～ |
| 2 部次長あいさつ | |
| 3 基本的な推進方向について | 14:05～ |
| ・総合政策部政策調整監から説明 | |
| 4 地域の現状と将来を見据えた課題について | 14:30～ |
| （1）地域課題について | |
| （2）課題解決や活性化などについて | |
| （3）総括 | |
| 5 閉 会 | 15:30 |

◎まちづくり集会の目的

地域の自主性と独自性を活かし、市民と地域と行政がお互いの立場を尊重した本市にふさわしい参加と協働によるまちづくりを実現するため、住民自治による地域分権を推進することとしている。

そのため、様々なまちづくり団体が一堂に会し、基本的な推進方向や身近な地域の課題などについて話し合う「まちづくり集会」の場を提供し、住民自治によるまちづくりの機運を高めることを目的とする。

菊川地区まちづくり集会（H25.9.15 開催）

【開催の様子】

9月15日に開催した菊川地区まちづくり集会へは、地域づくりなど、地域活性化のための諸活動を自主的・主体的に行っている団体等から15名にご参加いただき、自治連合会長を司会として、菊川地区が抱える地域課題、地域の活性化に向けた意見交換などを行いました。



【課題整理結果】

菊川まちづくり集会の中で、参加者どうして話し合われた内容を、地域課題とその解決方法とに分け、コンパクトにまとめています。

課題解決や活性化につながる意見は、個人で解決すべきものは自助、地域で解決すべきものは共助、行政が解決すべきものは公助に分けて表示しています。

菊川地区まちづくり集会

9月15日

地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）
まちづくり 市職員の地域参加不足		大学を活用した地域課題整理	まちづくりに参加しやすい市職員配置
子育て 保育園児の増加と幼稚園児の減少(幼稚園の休園) 既存施設を活用した保育環境の整備		地域で考える教育環境 (未分類)まちづくり団体内の情報共有	内日を含めた保育環境の検討 新制度の運用
人材育成 地域コミュニティの形成(若者)		親子イベントの開催	
健康 生涯学習を通じた健康維持 参加者を増やす手段		地域への団体活動情報の提供	空き(公共)施設活用の検討
安心・安全		イベント開催の継続	安全な通学路整備

【議事：地域の現状と将来を見据えた課題について】

【司会】

それでは、午後の会議に出てきまして、こんなに大きいことで菊川町の今からの将来に関わる、根幹に関わるという事でびっくりしています。

今、市から説明がありましたように地域で進めていくのだけれど、地域サポート職員制度の創設などということで、私たち素人集団が集まって行う会議に、行政もずっと運営へのアドバイザー的役割、また金銭的なヒト・モノについての支援を市が全面的にバックアップするということでした。

そして、最後には私たちがどのように将来を考えて活性化していく、どういう方向で一体化していくかについて考えるということで大体分かりました。

それでは、僭越ながら司会進行を勤めさせていただきますので皆さんご協力をよろしくお願いいたします。

まず、地域の現状と将来を見据えた課題についてということですので、地域の課題を皆さん方から自由に出して頂き、分野ごとに整理していきたいと思います。

それでは先ほどと同じように、ご意見のある方は挙手をお願いいたします。この時計で15時頃までとしますので、よろしくお願いいたします。それでは自由発言よろしく願います。

何か無いですか。現状こういうことで困っているという課題でもいいですし。将来的に菊川が小日本と言われるように盆地で纏まりやすい温和な人柄ということで、是非、皆で本気になって考えていきたいと思います。たくさん現状の課題があるんじゃないかと思いますが。

【市民】

今から7年前に、我々の地域がどんどん過疎化・高齢化し、孤独死もどんどん増えていく中で、このまま行政に頼っていたのでは、最終的に対策が遅くなるんじゃないかということで、貴和の里につどう会を3自治会で立ち上げました。

今、我々が一番の課題として感じているのは、7年たった今、やはり次を担ってくれる人がいないことだと思うんです。というのは、地域おこしをするためにはある程度の資金がないといけませんが、その金も無く、人もいない。これが一番大きな課題ではないかと思っています。

何よりよその過疎地域を見てみますと、そのほとんどは行政が先頭を走り、ある程度の形をこしらえ、それを地域の住民に降ろしていく仕組みです。

特に、山口県は過疎化が進んできていますが、周防大島町はその取り組みが非常に徹底されており、山口市も同様に取り組まれている。

ある程度、行政が先頭で走らなければ住民は何をしていいかわからない。我々のところの現状を見ますと、市の職員も自身を失っているという話がありました。

我々が活動を始めて7年経ちますが、市の職員は1回も出てこない。我々は年間12回も色々な地域づくりのイベントをやっていますが、そこに市の職員が出てきていないとい

うのが現状です。

ところが県の職員は我々の取り組みに色々と関わっており、県職員と市職員の教育の仕方が違うのではないのかと感じる。

というのも、市内でも県が色々と地域振興の取り組みをやっているが、市の職員が出てきているっていうのはほとんど見ない。ところが、下関に過疎地域が無いかといわれれば、豊北町、豊浦町、菊川町でも我々のような所があるんじゃないですかね。そのため行政がもう少し本気で引っ張る力を増やさないと地域でこれを進めるっていうのは難しいんじゃないかという気がします。

【司会】

ありがとうございました。それぞれの団体を代表して皆さん来られておられますので、この際、議題になるように、また後半でそのことについて皆で協議したいと思いますので、この前半で是非課題を出してください。お願いします。

【市民】

最近、若いお母さんたちが私を見つけると必ず言われることがあるんです。岡枝保育園はどうなの？ 檜崎幼稚園は休園になったけど、今後、あの建物はどうなるの？

もう一つ、保育園はどうしてあんなに満杯なのに幼稚園は無くなるの？ 一体どうなってるの？ といつも言われるんですよ。

私も、初めてこういったまちづくり集会に出させて頂いて、やっぱりいろいろ皆さんにご意見をこういう場所でしっかりお伝えしなくちゃいけないなと思ひまして、発言させて頂いているんですけど、どうなるか私にも分かりませんが、将来の子ども達のためにどうなったら良いのかっていうのは、地域の皆さんの声だと思うんですね。

ですから、そういう声をしっかり聞いて、現状はこういう風になっているけど将来はこういう風になろうとしてるんだよ、という事くらいは私たち自身もこうなりたいみたいな気持ちなんですけれど。

また、保育園のお母さんたちが車に乗って子どもを連れてくる。道路にいっぱい車を止めないといけない現状もなんとかならないかな、事故が起きなければいいなっていう心配しています。

本当に大きなことではなく、小さなことかもしれませんが、母親の立場としてご意見をお伺いしたいと思います。

【司会】

ありがとうございました。続いてお願いします。

【市民】

今、町P連の会長もしておりますので、やはりその立場でこの場に出席させて頂いたんだと思います。今、婦人会からありました幼稚園休園の問題につきましては、岡枝幼稚園の休園ということを受けまして、保護者の皆さんを集めて総会を行い、署名を集めて陳情書を教育長と市議会の副議長に提出させて頂いて、最終的には皆さん報道、新聞等でご存知の通り1年休園は延長され、来年も募集するという事に落ち着いたんですが、私たち保護者が休園を止めてくれというお話をするのではなくて、あくまでも自分の地域の子育

てを行政はどんな風に考えているのかと。

休園するという案だけを持ってきて、その次のビジョンを持ってきていますかと聞いたら、持ってきていませんと言われるんですね。

地域の保育・幼児教育をなぜ行政は切り捨てようとするのかというところを私たちは真剣に詰め寄りまして、最終的には2015年から子ども子育て支援制度に沿った新・子ども園をこの菊川に1つ、いろんな地域に密着した幼児保育の提供をきちんとやってくれという陳情、それも陳情の中に入れてさせて頂いてご理解いただいたと考えております。

結果、そういう新しい施設を作るというのは、先ほどご説明があったように予算の問題は新規計画等の時間の問題でもあると思いますので、できれば今ある保育園と3つの幼稚園、1つ檜崎幼稚園は今、休園にはなっていますけれども、施設はまだ十分に対応できると思います。

既存の施設を使った新しい教育制度を充用しながら、是非、子どもを持つ本当に若いお父さんお母さんが安心して笑顔でこの菊川で暮らせる、そして、こういった地域コミュニティの中で溶け込んでいける、正に先ほど行政のほうのから申されたまちづくりの根底にあることだと思っていますので、ぜひ実現に向けた第一歩として、また、この菊川を子育てのモデル地域としてしっかり人的、資金的、またサポート的なことも踏まえてやって頂きたいというお願いと、我々保護者代表として安心して子育てができる環境を私たちも協力していくということはもちろん申し上げた通りなので、今やっているサポートをしっかりとやりたいと考えています。また皆さんのいろんなご意見をいただければと思います。

【司会】

ありがとうございました。

菊川町のPTA連合会長でもあり、岡枝小学校のPTA会長ということで、岡枝幼稚園、檜崎幼稚園について、将来の施設も含めて提案がありました。

他にありませんでしょうか。

【市民】

私は商工会菊川町支所の会長をしています。この資料について、今日は各会長さんがおられますけど、そうは言ってもあんまり範囲が広すぎて、この課題をまとめるちゅうことは大変じゃないかと思っています。

私を感じているのは、菊川町は農業の町であるということ。

農業者、商業者、消費者そういった方々から先に、菊川町の地域は農業の町だということで意見を吸い上げ、それからこの資料にあるような組織で提案をするための大きな事柄を先にまとめ、会議を進めて行くべきであり、これではあまりにも範囲が広すぎる感じがしますし、これをまとめるのも難しいんじゃないかと思っています。

私たちが菊川町の中で一番、困っていると感じるのは、大企業の商業施設の進出によってどんどん商店が潰れていくということです。

菊川町の商業は、全部、大企業の進出で潰れてしまって、儲からんといって簡単に撤退する。

これも法律が悪いと思います。大店立地法は、野っ原の田んぼを買い取って潰し、大型

店舗をどんどん作ったことで、長府から下関の大手商店街が全部潰れてしまった。

これじゃあまずいということをして10年ぐらい後によやく気が付いて、大店法を改革して何平方メートル以上の店や工場を作っちゃいけないとなった。

この前から菊川町では、都市計画について何度もここで会議をやっているが、そういう方法じゃなくて、地域で大事なことを先にやって、大体の菊川町の方針が決まったら、これでいくと言って皆さま方を集め、意見を吸い上げてやらなければいけない。

今の行政は、このやり方で何を吸い上げようと思っているのかと思う。

本当なら市長がここに来て、菊川のまちづくりをどうするかという話し合いを年に2～3回はしないとしない。

私は1市4町の合併協議会委員をしまして、当時、合併すると田舎の魅力がどんどん吸い取られ、衰退してしまうので、地域住民の意見をどんどん吸い上げて欲しい。そうして、菊川町の意見を完全に吸い上げて、行政が真剣に菊川に来て住民に説明し、納得させないといけないと言いました。

しかし、住民の意見は吸い上げるだけで、説明が無い。

先ほど、PTA会長が言われたように、学校の閉鎖についても、噂だけがどんどん広まるので、町民は不安を感じるんですよ。

そうならないように、どこにいつごろ総合支所が建つだとか、今の状況はこういう風になっているだとか、そういった説明が大事やないかと思うんですよ。

町民も今、頑張っているわけですから、それを行政が指導していってもらわないと。

私は、市の議員とは顔見知りですが、とにかく昔とは違うんですね。

昔は、議員とも酒を飲んで、酔って、笑われて、コミュニケーションとって、大体それで円満に物事が決まっていた。

今の若者は、いくら会合をしても気が付いたら一人も残っていないので、私たち年配ばかりが何人か残って、酒の席で色々な話し合いをして、意見を大体まとめている。

いいようになっているんですが、今頃の若い者は、会合はあっても出てこんし、意見も聞かないんですね。今後は、そういう若者の会合をドンドン作ってやらないといけないんじゃないかと思うんですね。将来の担い手として、しっかりと指導していかないと、色々な課題もあるが、そういう意味です。

【司会】

はい。ありがとうございました。

この会議は、大きな菊川町の将来を決定づけるような会議であるということで、代表の方も急にどうですかこれでと聞かれても、皆さん十分に会員、その関係団体から意見を吸い上げてきていないので、農業や商業などもう一度意見を練って上げてくるほうが、効率的になるんじゃないかということが一つ。

もう一つは、やはり若者ということ、ここで今出ましたのは保育園のこと、それから次代を担う、ここで考えることは菊川町の将来を、我々年寄りが考えていくというのではなく、若者こそ参画して頂き、本当に若者が住み良い菊川町について考えていくべきということが一つ、ということで提案をいただいたと思っております。ありがとうございました。

ほかに、どんなことでもいいです。自分の団体だけじゃなくて日頃から気になっておられるようなことでもいいですので、この際お願いいたします。

【司会】

それでは、参考というか資料3の「菊川町の現状と課題」について、ちょっとプレゼンの合間に読ませていただいて、いくらかあったんですね。

現状の課題の中で言いますと、シカなどによる被害のこと、集中豪雨による水害の危険性、それから地域資源のことで色々なこととして、中山溪、歌野川ダム、それから自然活用村、それに菊川では我々が誇って他の地域の人に言う菊川素麺、それから桜、いちご、ホテル、花火、そしてもうひとつ、もう少ししたら開催されますけど、ぶちうま鍋など、そういう風なこととかで、今、思われておられること。鹿の被害などはたくさん要望が出てくるのですが、そういうことを含めて無いでしょうか。また、今挙げました以外のことでもいいですが。

体育振興会だけではなく社会教育委員という立場からでも、何か全体のことで日頃からお気づきのこととかありましたらお願いします。

【市民】

自分自身、これまで社会教育に以前携わったことがございました。

そういう面から言えば、やはり生涯学習の振興ということが生きがいづくり、あるいは高齢者のみならず高齢者を中心としたいいわゆる健康づくり。

このことがこれから菊川の大きな課題になろうかと思っておりました。もっと言えば下関市、或いは、もっと言って日本全体の問題として考えられます。

健康づくりだとか、そういうことを今後もっと考えていかなきゃいけないのではないかなと思っております。

それは正に地域からこのような事というのは、ある程度具体化したものができるのではないかということは今考えているところであります。

実際、私自身がもう高齢化の中のそういえば一員だということ気付きました。

今後、自分が生きていく、生涯学習していくということの中に置いても、やはり大切なのは歩くということだと思うんです。常に歩いている。突然、私が倒れるときがあるかと思うんですが、そのときは自分の寿命をまっとうする。

こういう時代、こういう一つの地域を作っていくことが、今現在、医療費の高騰というのが非常に言われていますけど、このような大きな地域づくりにとって、大切な要因ではないだろうかと思っております。

じゃあ、今、何をすべきなのかということになりますと、私自身はそのことで少しずつ今始めてはいますけど、これを隣の人に、隣3人目の人という形で広げていくのを、今どうやったらいいかということ課題として捉えております。以上でございます。

【司会】

ありがとうございました。

特に菊川小日本の事だけではなく、日本全体の課題として掲げております健康ということで、今、その方向性の一つが出ました。

菊川地区まちづくり集会（H25.9.15 開催）

具体的には歩くということ、それから今から他にもということ、色々な所に資料をお願いしたりしてやっていこうと思います。

このことについて、保健推進委員会のほうからも何かございますでしょうか、健康ということ。

【市民】

保健推進委員としては、下関の「ふくふく健康21」の健康チャレンジ2013ということで色々活動していますが、そういうのにそれぞれ皆さんが参加できるようにということで、9月7日にはふくふく健康21フェスタなどを行うなど、町内でも色々行事を行っています。

幼児からお年寄りまでを対象としていますが、参加する方は限られています。

そのため、色々な方に声掛けをしたいのですが難しい状況ではあります。

自治会からも回覧していただいています、回覧を見る方、見ない方がいらっしゃるし、若い人が見たら年寄りは見ない、年寄りが見たら若い人を見ないという方もいらっしゃる、なかなか全員に周知することが難しく、個人的には何人かお声かけはしますが周知が難しい状況ではあります。

社協のいきいきサロンや他の自治会が行っている取り組みなど、同じような活動が多く、皆も1つに参加すれば、他のはいいやという感じになってしまって参加者を増やすことが難しい。

保健推進委員が福祉員を兼ねている方はいいんですが、一緒になっていないとお声かけするのも難しい場合もあります。

【司会】

ありがとうございました。

現在、ふくふく健康フェスタを行っているけど人を集めることが難しいというようなことがありました。他にございませんでしょうか。

それでは、今までに出された課題は、大きく今3つに分類できると思います。

始めに、幼稚園・保育園のこと、婦人会、PTAから出されました。

これは一つとして、一緒に考えていきたいと思います。

その次に、貴和の里からは、人材がない、金がないということで行政の支援が必要ということであり、これには大きく次代を担う人ということをものすごく苦慮しているということでありました。

同じく商工会からも出しましたが、一つは効率性の問題、もう一つは次を担う若者をどのように参画をさせたり、力を入れていくかということでありました。

これも一つとして考えていけたらと思います。

最後に、体育振興会と保健推進委員から健康についてご提言いただきました。

大きくこの3つで、次の話をさせていただくということでいいですか。

【市】

今頂いたご意見を若干整理して、前のスクリーンに出しています。

かなりコンパクトにまとめていますので、こちらで整理すると4項目としています。

【司会】

大きい項目で課題を分けていますが、どの部分でも結構ですので、課題解決とかあるいは活性化に向けたご意見を頂ければと思います。

始めに言いましたように、大体3時45分までにご意見を頂きたいと思います。

それでは、まず子育てのことを補足、それから課題解決や活性化などについて今からご意見をいただきたいと思います。よろしくお願ひします。なお、全ての課題について今から解決策を検討したいと思いますが、時間の関係上、全部できないことがある場合は委員の方ご了承をお願いしたいと思います。

それでは前の画面に沿っていききたいと思います。

子育てについて、もう少しお話を聞いて欲しい、または、こういう問題解決があるんじゃないかな、こういうことはどうだろうか、ということも含めましてお願いいたします。

【市】

画面にはこだわらなくて結構です。

例えば、最初の子育ての話でしたらそれを解決するのもいいですし、自分たちでどのようなことができるかな、地域ではどんなことができるかな、これは行政にお願いするのかな、など色々あると思います。前の画面は、この集会で出た意見を市が整理しようと思っているだけなので、あまり気にせず、どういう形でも解決策があればお願いします。

【司会】

質問や要望、何でも結構ですので、お願いしたいと思います。

きっと将来に関わる問題ですので、司会がこんな話をしてどうかとも思いますが、一つの課題解決の方法として、保育園はもう溢れるほどでくじ引きまでしないといけないので、吉田や小月まで預にいくと聞いています。

一方で、幼稚園では、それぞれの園長が、どこかに子どもがいないだろうかといって、いつも困っておられる状態です。

それと、菊川だけの事ですが、隣の内日にある農協の倉庫は昔、菊川4カ村と書かれていました。内日と菊川は、植田、檜崎、岡枝、日新とで産業農業倉庫があり、内日から半分に分かれた日新と植田のほうと色々な経緯がありますので、是非、内日も含めて幼稚園や今から学校適正規模もあると思いますけど、これはここに言うべき内容ではなく、教育委員会にお願いすることだろうとは思いますが、内日も含めて考えていただきたいと思っております。

【市民】

菊川中学校のPTA会長をしています。今、お話のあった関係ですが、実際、菊川中学校には内日から登校されている方がいます。そういうことを含め、やっぱり山を越える訳ではなく同じ盆地内にある内日なので、できたら行政の方もこういったことを勘案して、内日から勝山に通学するのではなく、どっちかといったら菊川に通学させていただければと感じておりますのでお願いします。

【司会】

内日は、川の流れ谷川の流れも菊川と一緒にということで、山を越えて20キロぐらい先

の学校に行くんじゃないなくて、近くの見えるところでというお願いです。

また、先ほど縦割り行政の弊害を無くすようにという風な話がありましたけど、またそこもよろしくお願いいたします。この問題が菊川のまちづくりに大きく関わってくると思うんですね。色々なところで幼稚園が無くなったり、学校が無くなったりしたんです。

あるところで話が出ているんですが、若い人は、皆さん住宅に入って、お爺ちゃんやお婆ちゃんがやはりその土地に住んでいて、田んぼや畑を土日に帰ってする。

なぜかという、若い人は学校に歩いて通わせるということが学校教育の一番大切なことで、この事に教育の良さが出てくるんです。だから、そこにちょっと生産能力の落ちた人たちがおっても、先はドンドン無くなるので、それを考えていかなければいけないと思います。

これは、まちづくりに先ほど貴和の里からも話がありました。

町民全員でこれを考えて、また行政のほうにお願いしていかなければいけないと思うので、私自身もこれは菊川町の存亡に関わる大きな問題になってくるんじゃないかと思えます。

ご意見がありましたら、感想でもなんでもいいですのでお願いします。

【市民】

人づくりというのは手のかかる非常に難しい問題じゃないかと思いますが、そこで下関には下関市立大学ありますよね。

その大学関係を使って、例えば菊川町であれば、菊川町にどういった課題があるかという事を学生さんに頼んで調査してもらい、その中から何と何が課題であるかという捉え方をされたらどうかと思います。

下関市立大学も、今の学長なんかは特に地域学をやられて来られた方でもありますし、大きな教育をしてもらってやっていけば、僕は近道やないかと思えます。

また、今後のまちづくりについても、そういう風に色々な所にプロがいらっしゃるので、そういったプロの方に、例えば菊川町だったらどういう問題があり、それをどういう解決をしたらいかなというような問題解決の仕方っていうのもあるんじゃないかなという気がするんですよ。

【司会】

ありがとうございました。そういうシンクタンクを使ったらどうかということで、実際、山口大学や下関市立大学も色々な地域に入って、活動するニュースなんかを私たちも見聞きしております。そういう一つの提言をいただきました。時間的にもかなり経ちましたが、他にこの子育てを含めたことについて無いでしょうか。いいでしょうか。すぐにはまとまらない結果は出ないと思いますが。

【市民】

まちづくりに市の職員も参加するという所の話なんですが、先ほどプレゼンの中でもありましたけど、職員の方々も日々その業務で色々忙しく大変な中で、またここで、人員削減すれば益々参加する人はなくなるということで、ここは人員削減ではなくて地区に必要な人員を配置していただいて、参加しやすい環境を作るのも行政の一つの政策なのか

などという気もしています。

子育てについては、自助・公助・共助ということで、我々、岡枝地区だけじゃなくて菊川全地域において、まず幼稚園にきちんと入ってくださいね、幼稚園に入ることによってまたその園が継続できるのであれば、そこをきちんとみんなで考えていきましょうねと今、呼びかけています。お母さん方も一生懸命、動いてくれていますので、そういったところは地域で一緒にやっていくということで、行政へのお願いとしては、新制度を前倒ししてでも菊川地区に早急にモデル地区として、しっかりと国のマニュアルどおりじゃなく、市独自の運用を図って頂きながらやっていって欲しいと思います。

あと、商工会から提案のあった若者の事については、菊川に青年団があって、本当は今もあるんですけど、段々と子ども的人数も多くなったので、青年団でも色々できるんじゃないかという話をしているんですが、やはりそういった若者のコミュニケーションを作る場というのは、プレゼンにもありましたけど、そういった所をしっかりと、青年団が菊川にはまだありますので、行政のほうに認識して頂いて活用するような企画をしていって頂きたいと思っています。

あと、健康、生涯学習については、姑息な方法かもしれませんが、例えばお子さんを含めたイベントをすれば、お子さんも来るよと言ったら親が来る訳で、よく僕もスポ少の指導をやっているのであれなんですけど、そうしたときに親子で来られるので、親子参加にしましょうとか言ったら、親の方も結構本気になって来られたりするんで、子どもと一緒に何かできるような、お爺ちゃんお婆ちゃんが孫と一緒にやってみようかな、というところもあったりします。

考え方なのかなとは思っていますが、そういった所を我々も、もし参加できるようなことがあればPTAでもしっかりとPRながら、食育とかも含めて小さい事からやれば、もっと良い事ができると思うし、協力できる事があればまた言って頂ければと思います。

【市民】

私は、子供会の会長をしています。

今、難しい課題が沢山ありまして、具体的には決まらないと思います。

ですから、総合支所がもっと各自治会長、それから色々な分野の関係者にアンケートを取って頂きたい。

ここで我々が色々と言っても始まらないと思いますので、そういった事からスタートされたほうがよろしいんじゃないかと思いました。以上です。

【市民】

いいですか。

私は、まちづくり集会ということであれなんですけれど、これだけ立派な資料なんかがあれば、もっと早くから見せて頂いて、一からもう少し勉強をして来なくちゃいけなかったかなと思っているところです。

本当に、こういった団体は菊川町には必要です。

婦人会一つにしても、まちづくり集会の中で、どういう事をどういう風に皆で希望するかについて、会の中でまとめて来たかったなと思います。

菊川地区まちづくり集会（H25.9.15 開催）

各自、皆さんここに来られるんだけど、団体の中で、このまちづくり集会に出ることについてお話はされていますか。されてないと思うんですね。私もそうなんです。

婦人会長もしているので、今回、出席のご案内があったとき、そうですか出ればいいんですねといった感じだったので、今思えばいけなかったかなと感じています。

婦人会、女団連、色々な意見を聞いてここの場所に出るべきだなと反省しています。

【司会】

はい。私もこの基礎となる自治会のまとめ役であり、同感です。

【市民】

すみません。健康についての補足ですが、先ほどのふくふく健康チャレンジ2013として、健康づくり課からの要望がありまして色々されています。

菊川町でも、この9月には赤ちゃんのベビーマッサージがあります。

それから10月に入りましたら、小学生に豆腐づくりを体験させようということで、お母さん方も一緒にとっています。

12月には、また運動講座というのを開いて、色々講師を招いて開催する予定になっていますので、小さいお子さんから年配の方まで幅広い世代の方が参加できるようにしています。

それに参加されると、こういうハガキなのですが、商工会にも置いてありまして、これにスタンプを貼って頂いて応募すれば、色々な豪華賞品が当たるといったこともやっています。

スタッフから自治会を通じて回覧しているんですけど、本当に皆さんへの周知がされていないので、私たちも色々な場所で声を掛けていますが、まだまだ周知が足りない状況です。皆さんも参加して頂ければと思います。

それから、またここで介護予防の講座なんかも9月27日にあるみたいなので、是非、興味のある方は参加してもらえればと思います。それこそ各自治会に一人ということではないので、いらっしゃらない自治会の方にはなかなか周知しにくいということもあります。

回覧が回っていると思うんですけど、なかなか周知がしにくいので、その辺のところも参加していただければいいなと思います。

また、回覧は何の為にあるのかと私よく思うんですが、それを見てない方もいらっしゃるので、しっかり見て頂いて参考にさせていただければと思います。

子どもさんのことにつきましても、いろいろと休園になると施設が空きますが、他への活用をさせて頂きたいという団体さんもいらっしゃいます。

せっかく空いている建物があるので、そういうのもいろいろと活用する方法を検討して頂ければと思います。

【市民】

私は民生児童委員をしていますが、子どもの話が出ましたので発言したいと思います。

10年ぐらい前から、親子100人で遊ぼうということで参加者を民生委員が各地域で募集しまして、夕方、運動公園で、それぞれの民生委員が持ち寄った材料を使って、みんなでカレーライスを作ったり、親子で楽しくゲームをしたりするイベントをしています。

菊川地区まちづくり集会（H25.9.15 開催）

このイベントを始めて10年になりますが、今年はいにく雨で中止になりました。

このイベントを始めるきっかけは、昔、家庭内暴力でいろいろと家庭内がゴタゴタしていて、私達としても親子でカレーを食べ、運動し、ゲームをして親子、爺さん婆さんと一緒になって遊べばそういう家庭内暴力が緩和されるんじゃないかなというような趣旨で始めたものです。

また、民生児童委員で、サツマイモ植えのイベントをしていますが、ふれあいですから3歳未満の小さい子でございませぬので植えたりするのは皆私たちがやるんですが、それこそ親子で4～50人は来ます。

イモ掘りイベントなんかをそれぞれの民生児童委員が開いて、どんどん参加された皆さんに持って帰ってもらうということで、そういう行事があると親子のお子さんがたくさん集まるなと感じています。

特に、子育てなんか小月、清末方面からも結構来られました。

親子100人に参加してもらおうという企画は、非常に好評で、最初は多くの親子が集まってきたんですが、夏休み中のイベントですから、行事も多くで最近はやや参加者が集まらなくなってきました。特に、子どもさんの数が少なくなってきたのも影響があるかとは思いますが、イベントが終わって親子がニコニコと手をつないで帰る姿を見ると、また来年もやらないといけないなと思います。

【司会】

ありがとうございました。それぞれの活動団体のPRや意見が続きましたが。もう時間がきておりますが、是非と言う方、もう一つぐらい意見とか課題解決方法など承りたいと思いますけど。

【市民】

子どもが安心・安全に学校に通えるということがいいんですが。私が住んでいるのは下保木という所で、歩道がありませんし、路肩もほとんど無いと言っても過言じゃないです。

特に、市道の部分、県道は草刈りを結構して頂いているんですが、市道の部分については路肩をほとんどの集落の子どもたちが歩いて通学しております。

内日から吉田に抜ける道を、結構みんな通勤・通学時間帯ということで、車が飛ばして通っており、その中を子ども達は毎日通ってますし、自転車も通ってます。

特に、この辺りのところで、車が突っ込んで子どもが亡くなったりだとかして、初めてそこで県や市、いろんところが動いて歩道ができる。人が亡くならないと動いてくれないのかなと。そのぐらいじゃないけど、誰か犠牲にならないと歩道をつけてもらえないんじゃないかなと感じる。

実際、保護者の立場からすると、そのぐらいの気持ちでいつもヒヤヒヤしながら子ども達を見送っているんで、できればそういうことを、中学校の施設等々もありますけども、できたら子どもたちが安心・安全で学校へ通えるようにして頂ければということで要望とさせていただきますので、よろしくお願ひします。

【司会】

ありがとうございました。通学路のこの件です。自治会からも現実に、今年も市政要

望として上げております。これは市の建設課に回す案件じゃないかと思えます。またこういうことも含めて後押しの方をしっかりとお願いいたします。

予定時間をちょっと過ぎましたがこれでお返ししてもいいですか。

【市】

まとめとしてこちらの画面に今日出た意見を整理したものがあるので、ざっと読み上げて頂いてもよろしいでしょうか。ポイントだけでも結構です。

【司会】

まちづくりに対する市職員の地域参加不足ということで課題が上がっています。

それで、解決方法として一つ上がったのは大学を活用して地域課題の整理をしてもらうとどうだろうかということ。

それから、まちづくりに参加しやすい市の職員の配置を是非お願いしたいという要望が出ております。

子育てに関することでは、保育園児の増加と幼稚園児の減少。

菊川では現実に幼稚園の休園また1年たって延びるというのがあります。

それから、既存施設を活用した保育環境の整備と幼児教育の環境の整備。

それに対することで、地域で考えた教育環境をもっとやらないといけないのではないかということ。

それから親子イベントを開催することによって、子ども達が集まりやすいような状況を作ってあげるとのこと。

それと、もう一つは単発的に終わらないでそれを継続して欲しい。口伝えにより発展していくように考えていこうということ。

それから幼保のことですが、幼保連携と内日を含めた保育環境、幼稚園も含めまして検討をお願いしたいということ。

それから人材育成に関することですが、地域コミュニティの形成で若者をどのように今から入れていくか。

特に若者が参加もできない状態になっているので、まちづくり団体内でも積極的に若者を入れて、情報を若者と共有しながら菊川町のまちづくりを考えていこうということ。

それから健康に関することで、生涯学習を通じた健康維持、参加者を増やす手段として地域への団体活動情報の提供をする。今以上に徹底をしていくということ。

具体的な方法というのは皆さんの知恵を出し合っていこうということで、現在やられているけど少し頭打ちの状態になっていると。

空き公共施設の活用の検討を、今から入っていかなければいけないんじゃないかということ。

それから最後に出ました安心・安全について。安心・安全な通学路の整備確保ということを考えていきたいと。以上こういうようなことが出ております。

時間の不手際で時間が無くなりまして、うまく纏めることが出来ませんでした。

【市】

色々ご協力頂きましてありがとうございました。

今回、このように集まって頂きましたが、やはり地域には地域なりの課題があるなど感じました。

この集会の最初に、行政は行政としての責任を持ち、その責任を踏まえて市政を運営して欲しいとの意見を受けまして、その思いを強く感じました。

行政というのは、全体的に統合してやっていかなければいけないという部分があったり、順番に、ある程度段階的にはやっていかないといけない部分もあったりします。

また、少し大きな経費を伴うものは、時間が掛かるという部分もあったりしまして、地域にとっては市にやってもらうのに時間が掛かったり、いつまで経ってもやってもらえないと感じてイライラが募ることも多いと思います。

そういう中で、今日の課題を整理した画面の中にもありましたように、もしかしたら本当は行政がやってくれば良いなと思いつつも、地域で少しでもきっかけを作る中で解決できるかもしれない。地域の取り組みから、少しでも新しい動きをすれば、それに対して行政側も大きくバックアップしていくかもしれないとか。

また、今、保育園や幼稚園のことで、小学校とかPTAでお困りの方、地域全体で支えていくのに来年度どうしようか、再来年度どうしようか、その次どうしようかと全体で考えていくと、もう少しなんらかの工夫ができるのかもしれない。

行政も、全部こうしてくれないといけないという事があるかも知れませんが、一番地域に詳しい方々が、一つでも二つでも地域の課題について、今の状態の中から改善していく、何か良くしていくきっかけとなって欲しいと思います。

先ほど、健康が常に大切と発言された方は、日ごろから歩いているとのことですが、地域の中でも、何か地域でできることをするきっかけを持つことが必要だと思います。

要は、今まで関わっていることでも、もしかしたら何かできること、新しく踏み込むことが残っているかもしれません。

そういったことについても、今日のまちづくり集会の場で、意見を出して頂いたんですが、既存の組織だけで、その範囲内だけで考えていたらできない事であっても、少し地域全体で、まちづくり会議という場で、何かを解決していくきっかけが作れるのではないかという思いで、新たなまちづくり会議という場を活用し、一つでも二つでも踏み込んで頂いて、それが次の大きな地域の安心や安全につながる、つなげていけることができればと考えております。

だからといって、大きなことも含め全部、地域で良くしていこうとしても、地域の方だけで全てを担うという訳ではないですが、一つでも二つでも地域が不安になっている事をそのまま放置しないで、地域でできることを少しでも進める。

先行して何かをやっていくきっかけとして、なかなか既存の組織だけでは出来なかった事でも、こういった場で議論いただき、行政も応援させて頂ければと思いますが、我々としても次の皆さんにつなげていければということで、ご提案させていただきました。

どうぞまた引き続きこういう形の中から、皆さんにお持ち帰り頂いて、次の組織づくりに向け取り組んで頂ければと思います。